



平成 22 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 ジオスター株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 篠原 喜代司
(コード番号 5282 東証第 2 部)
問 合 せ 先 常務執行役員
経営管理部経理チームリーダー
井上 幸則
(TEL 03-5844-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 23 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,700	△390	△390	△235	△13 円 28 銭
今回発表予想 (B)	6,006	△211	△195	△336	△19 円 05 銭
増減額 (B - A)	306	179	195	△101	—
増減率 (%)	5.4	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間)	5,944	△214	△210	△153	△8 円 66 銭

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,500	375	370	200	11 円 31 銭
今回発表予想 (B)	16,300	360	370	65	3 円 67 銭
増減額 (B - A)	△1,200	△15	—	△135	—
増減率 (%)	△6.9	△4.0	—	△67.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	16,111	457	465	323	18 円 31 銭

平成 23 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,150	△190	△190	△120	△6 円 78 銭
今回発表予想（B）	4,212	△92	△79	△97	△5 円 51 銭
増減額（B－A）	62	98	111	23	－
増減率（％）	1.5	－	－	－	－
（ご参考）前年同期実績 （平成 22 年 3 月期 第 2 四半期累計期間）	4,392	△39	△35	△27	△1 円 53 銭

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	12,500	310	300	165	9 円 33 銭
今回発表予想（B）	11,000	285	300	110	6 円 22 銭
増減額（B－A）	△1,500	△25	－	△55	－
増減率（％）	△12.0	△8.1	－	△33.3	－
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	11,533	335	331	206	11 円 68 銭

修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間

売上高につきましては、連結・個別とも増収の見通しであります。

営業利益及び経常利益につきましては、増収による粗利額の改善、販管費の減少等により、連結・個別とも赤字幅減少となる見通しであります。

当期純利益は、平成 22 年 8 月 6 日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」の通り、資産除去債務を特別損失に計上したものの、営業利益・経常利益の改善により、個別については赤字幅減少となる見通しであります。連結については、個別要因に加えて、税金負担が増加したこと等により、赤字幅拡大となる見通しであります。

(2) 通期

売上高につきましては、公共工事の削減・発注遅れと同業他社との競争激化により、連結・個別とも減収の見通しであります。

営業利益につきましては、減収の影響を受けて減益となるものの、支払利息削減等により経常利益は変わらない見通しであります。

当期純利益につきましては、(1) 第 2 四半期累計期間の記載と同様に、資産除去債務の計上、税金負担増等により、連結・個別とも減益となる見通しであります。

（注）上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上